



### 平小鐵の線路決定で

#### 工藤 次官四日來郡

平小鐵の線路決定を前にする實地視察のため鐵道省工藤政務次官の來郡は四月上旬の模様であること既報したが同次官の出張は来る四日に確定し其の爲め星代議員も同日まで滞在これを迎ふる筈

#### 湯本収入役決定

石城郡湯本町では鈴木信顯収入役の死亡による後任推薦町會を二十九日開會、収入役代理であつた書記内山吉五郎氏に昇格を萬場一致承認した

### 陸相官邸に押かけ 詐欺黙鐘失敗の巻

#### 新登場者に早大學生二名 東北振興會理事の偽名

屢報鈴木雄雄(四)の詐欺事件は取調の進行につれて共犯者も明らかになり、出張の菊地、田邊兩刑事の爲め東京市溝谷區青山山一(一)五三早大政務出身元朝鮮總督府官吏白水齋太郎(三)及び同區溝谷元町二の一九四早大法科出身元東都某新聞記者志茂行城(三)を檢察この兩名は去年二年鈴木と共に東京市丸の内所在本縣出身の某有力者を訪ね縣出身在京學生の寄宿舎を建築すると偽り寄附名義で金五百圓を詐欺せる外丸の内第一銀行取締役渡谷正雄より帝大經濟學部助教授土屋某の紹介状を偽造せる鈴木が例の小松川小學校訓導官田純一郎と詐稱し滿洲の教育視察に行く賀金援助に金百圓の寄附を騙取し様としたが看破されて失敗更に鈴木は昨年九月中東拓ビル内東北振興會常任幹事若

### 星野曹長市葬

平市二丁目星野久八氏長男故星野嘉久治曹長は老虎尖の激戦に於て拔群の武勳を立て、

### 内郷校と好問校

#### 星氏の時局講演會

代議士星一氏の第七十四議會報告演説會は昨紙所報の如く来る二日午後平市公會堂と植田小學校の兩所に於て前支那事變〇〇指揮官海軍大佐星崎林藏氏と共に壇上に起つことになつてゐるが星代議員が來

### 會社記念日の明日

#### 片倉製糸の靈神祭

#### 養成工の入場式から繰延べ 時局柄一層嚴肅に執行

平市の片倉製糸では各職工の維工場の何れも工女に拂底を告げてゐる折柄新築手見習ひ八十名の入場式が最近世界博覽會日本館に於てシルカールが人氣を博してゐるなどの事情から本年は高女出の希望者が多く鏡後の子女に健全な活躍振りを見せて居り去

### 磐城中学校入試合格

- 長谷川泰正 大平喜真 小泉武夫 直井潔 武田太一 横山力 柏原平八 清水章 政 鈴木政雄 豊田弘伯 佐藤利男 關谷勝夫 大藥忠康 草野秀夫 澤田行男 坂本清水 鈴木啓吾 柳沼裕允 箱崎富盛 柴田實雄 芳賀武重 坂場政次 小松脩郎 小林正幸 小池満 齋藤賢 大和田一郎 仲繪 榮 木村泰夫 鈴木新一郎

### 支那語

父のことは父親でフウチン又はテイエ、母のことは母親でウツチン又はマー、祖父は祖父でツウフウまたは爺々でエーエー、祖母は祖母でツウムウまたは奶奶はナイナイと稱へる、

### 中支に於ける

#### 最近の討伐行 (2)

#### 栗城富士夫

軍靴には既に泥水が入つて冷たい、行進速度が速くなる、段々敵地に近くなる、四圍への警戒も嚴重になければ何時不意をやられるか判らない、八時半頃「アラレ」泥りの冷雨が頬を叩き初めた、銃を荷負ふ手が痛くなる、第一分隊前方、第二分隊左

- 加藤登 勝沼昭 長谷川龍 鈴木龍雄 木村亨 古市慶一郎 西山昭夫 小崎幹夫 吉田稔 市原二良 蟻波次男 木田和男 志賀恵三 柴崎泰雄 須田益雄 清水大藏 片寄雄市 宮本繁雄 根本守 金成誠三 田中修二 長谷川貞 早川信平 吉井康信 吉村多喜一 蛭田貢司 佐藤有信 岩並政知 三瓶悦雄 遠藤榮 佐々木安 鈴木克好 端山節男 久野貞次 渡邊一男 坪井清 矢島洋三 小倉丸誠之 片寄從道 平澤一郎 水野谷昭二 篠原忠男 若松莊平 草野正作 福本寅雄 小湊宗男 草野隆夫 吉田明彦 豊田公道 猪狩太一郎 鶴沼六郎 新妻唯一 青木稔 伊藤孝範 大平昭二 木村元昭 大平義雄 加藤和郎 草野光男 矢野康平 鈴木弘行 島海司郎 鈴木克巳 熊田福松 井上通 瓜田壽 緒形三郎 根本光雄 柴崎正典 齊藤幸市 綿引勝彦 下遠野信吉 藁谷毅 加藤木啓吉 鈴木哲夫 箱崎庄平 江尻光男 佐藤喜一 飯田榮一 小熊榮一 酒井忠夫 箱崎 榮 石井保 久保田文雄 本田信義 酒井啓隆 加美山精三 佐川七郎 吉田昌八 比佐克夫 宮澤輝光 小野順誠 金成直昌 川島昭 太田誠 矢吹義光 野野 卜部正男 佐川公平 小野孟男 古川允孝 馬目久夫 中野正 根本正 山紀元 志田仁男 酒井健治郎 高木一 菅波惣太夫 永山孝雄 石川銀壽 北村正三 半三郎 早川昭夫 北村正昭 諸橋鐵二郎 作山和男 渡邊義春 高橋陽長 阿部悟 吉田勤 御代勝夫 佐伯一夫 阿部等 菅井克美 荒川利久 大平旭 菊地武彦 箱崎久郎 御代健次郎 田中安雄 渡邊香津未 佐藤幸男 國部敏夫 志賀大愛川千壽 佐藤哲夫 坂本正 坂本英雄 深瀬正雄 箱崎誠秀 三戸清 田山末男 鶴沼功 五十嵐一明 三井慎一郎 關唯夫 松崎正博 草野辰雄 鶴沼幸市 植田武雄 鈴木茂 比佐勝義 磯上正信 三森重憲 菅原道夫 中澤涉 志賀義憲 佐藤克彦 佐藤廣一 齊田壽男 村上有 逸見建二 本阿彌博 阿部力 淵昇 矢代英世 渡邊一郎 近藤榮三 船井雄次 永山 惠司 長瀬榮治 須藤昭男 齊藤彌四郎 馬目英雄 稲沼繁雄 石田元實 惠原猪

### 家政學校生徒の 七日貯金

石城郡内郷村家政女學校研究科生十二名は支那事變後發の七月七日に因み七日貯金と稱して毎月七日一錢づきを積み此の程の卒業式までに貯つた三圓五十錢を早軍慰問金に献金した

### 五十圓國防献金

石城郡物品販賣統制組合では過ぐる舊年末首の賣出宣傳と景品を節約して得たる金五十圓を國防献金去る二十七日植田に寄託した

### ウエル萬年筆

新製ダイヤペン付 一、五〇以上 商工省主催「代用品工業振興展覧會」出品申込の各種代用品としてウエル筆としてみんなに合格したる新製國策製品

魁文堂 電話三三三

襟に入る雨が苦しいので鐵カブトを冠り初めたら皆かぶり出した、雨が金屬性の音を打ち出してチン／＼と頭に氣持よく響く、鐵カブトの雨滴が全部肩に浸みこんで行く、道はよく滑る、轉倒した者もあるらしい、時々傾狂な聲を出す者があるから皆足許に氣を取られて居るらしい、下を見て黙々として歩いてゐる、手が冷たい身体がふるふる、一服が空いたと誰かがつぶやいた、成程空腹の様な感じがある、三キロも歩いたか、一寸した部落に着いた、百姓家が五、六軒、白壁をばけて破はれて居る、細々とした松の木立が竹林の縁に浮き出した様に見える、懐しい木だ、警戒しながら〇〇の敵情を聞きた、それも徒勞に終り、何も得る所がなかつた、唯一つ今我々が前進してゐる、道路の上、三、四百米前に行つた所に晝は農業して夜になると土曜になる家が一つあると教へられた

# 畜業方面

## 戦時体制下に於ける細羊

(8) 本縣細羊組合佐久間副組合長述

此の仔羊種は丸太とか或は板とか或は竹の様なもので仔羊の出入し得る程度の格子をつけた柵で高さは三尺位とし長さは仔羊の頭数に應じて適當に作ればよい、而して其の給餌すべき飼料の分量は最初は消化し易き糠や粉砕した油粕の様な濃厚な飼料を少量給與し次に上等の乾草を與へるのである、

仔羊の哺乳期間は何ヶ月位が最も適當であるかと云ふにこれは母羊及び仔羊の健康状態や其の他の事情によつても多少異なるものであるが大體生後三ヶ月より五ヶ月の内に離乳するが良いのである、勿論哺乳期間が長ければそれだけ仔羊の發育は良好であるが母羊が仔羊の哺乳のために非常に疲勞して次の交尾期に至るまで少しも休養する時がなければその蕃殖に悪影響を及ぼすものであるから適當の時に於て離乳を行ひ、次の蕃殖に必要な良好の營養状態に回復させるのである、

離乳を行ふには仔羊を母羊より急に離さず徐々に之れを行ひ成るべく離乳の感を深からしめぬ様にする事は良いことであるが餘り手数がかゝるので普通は母仔を一時に別居させる方法が行はれてゐる、子羊は俄かに母羊に別れたので母羊を慕ふの餘り一時その發育を管ふものがあるから離乳後の子羊には成るべく良好なる飼料を與へてやるやうに

スペイン GHN 元詰  
ゴルフポートワイン

甘味葡萄酒  
御婦人の方には少し水を加へて召し上ると風味一そう佳良です

(平二) 西村屋薬舗 (電三)



便利で  
経済な  
日下家政婦會の  
派出婦を御利用下さる  
身元確かで品行方正ですから  
何を任せしてもご安心です  
平市白銀町十番地 (電話七二三番)  
會長 日下すい子  
會員同志の御加入(派出なき閑暇に裁縫や)  
を御誘ひ致します(編物をお教授致します)

優等賞受領  
登録商標  
稻萬歳  
稻妻  
石城郡植田町  
古川酒造吟醸  
電話一六番

### 學生帽子

33.....68

### ランドセル

皮代用...1.90...3.30  
皮製...3.70...8.50

### 手提鞆

男子用...1.75...2.70  
女子用...1.30...4.00

店内各種陳列

ツルヤ  
電一四〇

愈々近き嬉しい新入學期

## お醤油はヤマフル

醤油、味噌、  
たひら、正味、  
鰹節、食料品

山崎合名會社  
電話 本営業部二七〇番  
山崎與三郎

明治生命警城代理店  
電話 本営業部二七〇番

## 帝國海上保險株式會社

代理店 關内正一  
事務取扱者 阿部助次郎  
平市三丁目 電話一六番

高層建築  
優良住宅  
高層建築  
優良住宅  
高層建築  
優良住宅

専門 皮膚科  
泌尿器科  
性病科  
江尻伊三郎  
醫學博士  
平市田町 電話六九二番

### 院醫尻江

診療科目  
一、齒科一般  
保存科、補綴科、綴架工科、  
齒列矯正科、小兒科、齒槽膿漏科、  
一、口腔外科  
一、レントゲン科  
平市田町(松月堂向ヒ)

### 中野齒科醫院

院長 日本齒科醫學士 中野慈次  
日大齒科醫學士 齋谷伍郎  
補綴部主任 佐藤重義

電話五九二番

に變りました

## レストラン サロシ

平市銀座街

病室増築、手術室完備  
産科 醫學博士  
婦人科 五十嵐雄二  
平市新川町一 電話二六九番



御入學、進級、卒業、記念に、此の上のない贈物  
贈呈用化粧箱入  
二圓より各種調製  
萬年筆 岡萬年筆製作所  
平市十五丁目(大町通り)

定價金壹圓より各種

專萬年筆